

単元 教科書 資質・能力 (CAN-DO)			実施時期											質的ルーブリック（判断基準）			
			1 学期				2 学期					3 学期		考え・基礎知識 (Ideas)	つながり (Connections)	応用・ひろがり (Extensions)	
			Lesson 1 “What Do You Eat With”	Lesson 2 “Wrapping Culture”	Lesson 3 “A Story about Yaku-Sugi Cedars”	Lesson 4 “Interview with Anyango”	Lesson 5 “Vegetable Factories”	Lesson 6 “The Power of Color”	Lesson 7 “What Is Going On in Tuvalu?”	Lesson 8 “Humpback Whales”	Lesson 9 “From Owing to Sharing”	Lesson 10 “I Promise to Clean up ...”	Reading 1 “After Twenty Years”				Reading 2 “The Choctaw’s Gift”
聞くこと	自然な速さの標準的な英語で話されれば，社会的な出来事や話題をテーマにした発表等を聞いて，概要や要点を理解することができる。					○			○					○	話し手の verbal な情報を理解している。	話し手の non-verbal な情報を verbal な情報と統合して，話し手の意図を理解している。	話し手の意見や考えを critical に聞きながら，評価している。
話すこと	発表	前もって準備しておかなくても，社会的な出来事や話題について，その概要をまとめ，話題に対する自分の意見を効果的に述べることができる。				○			○					○	論理的に筋の通った話をしている。	自分の考えを他者の考えと比較・分析しながら，自分の考えを明確に述べている。	他者の考えを的確に分析・評価しながら，自分の考えの正当性を主張している。
	やりとり	人間・社会・自然等の抽象的で幅広い話題に関する相手の意見について，まとまりのある文章を用いて，意見交換を行うことができる。	○					○	○		○	○			トピックについて正確なことを述べている。	比較や分類を用いて適切な例示をし，聞き手が理解しやすいように工夫して話している。	聞き手の反応，理解，質問を予測しながら，効果的に情報を提示する。
読むこと	必要となる語句を調べたりすれば，社会的な出来事や話題について書かれた記事を読んで，必要な情報を得たり，概要や要点を理解したりすることができる。		○							○			○	○	書かれている文章の表面的な意味を理解している。	書かれている内容を自分の持つ経験や背景知識とつなげ，筆者の意図を理解している。	書かれている内容と自分の持つ経験や背景知識とつなげ，新しい見方で価値を創造する。
書くこと	必要となる語句を調べたりすれば，社会的な出来事や話題について，事実と意見を明確に区別して，目的に応じてまとまりのある文章を書くことができる。					○				○				○	正しい句読法や語彙を用い，正確な文構造で作文している。トピックに沿った作文をしている。	文と文のつながりを意識し，一貫性のある作文をしている。	読み手に内容が伝わるように，文構造や論理展開を工夫している。
主な学習活動 (協議，討論，発表等)			協議発表	協議面接	協議発表	面接	発表面接	発表面接	作品	発表面接	協議発表	作品	発表	発表			

意欲・態度， 価値観・倫理観	考え・基礎知識 (Ideas)	つながり (Connections)	応用・ひろがり (Extensions)
批判的思考	様々な考えを比較しながら，結論につなげようとしている。	Evidence を比較，対照，批評しながら，結論を導くためにそれらを活用している。	批判的思考に基づく evidence の検討を，独創性のある結論や提案に結びつけている。
協働	協働学習に参加し，他者との協働を許容している。	協働学習の中で自分と他者の役割を認識し，問題解決に臨んでいる。	積極的な提案を行うなど，協働学習を通して新たな価値の創造に向かっている。